



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エヌジェーケー
 コード番号 9748 URL http://www.njk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷村 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 仲 康弘 TEL 03-5722-5700
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,167	△3.4	△45	—	127	△34.6	105	△0.1
25年3月期第3四半期	7,416	10.0	96	—	195	—	105	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 78百万円 (△51.1%) 25年3月期第3四半期 161百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	7.64	—
25年3月期第3四半期	7.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	12,412	10,000	80.6	723.67
25年3月期	12,875	10,045	78.0	726.97

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,000百万円 25年3月期 10,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,100	4.5	400	26.0	420	△13.8	265	△33.3	19.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	13,996,322株	25年3月期	13,996,322株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	177,802株	25年3月期	177,738株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	13,818,580株	25年3月期3Q	13,819,395株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はそれらの予想数値とは異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページの「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、オリジナルパッケージ開発及び販売事業やITソリューション・機器販売事業が順調に推移したものの、主力のソフトウェア開発事業が全体的に減少したことなどから71億6千7百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、売上高の減少と売上総利益率の低下により、営業損失4千5百万円（前年同四半期 営業利益9千6百万円）となりました。また、投資有価証券評価益を計上したことなどにより、経常利益は1億2千7百万円（前年同四半期比34.6%減）、四半期純利益は1億5百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

各セグメントの概況は次のとおりです。

① ソフトウェア開発事業

[エンタープライズソリューション]

公共分野やカード決済システムの開発案件に注力しましたが、企業の基幹系システムの開発案件が縮小するなど、売上高は減少しました。

[基盤環境構築ソリューション]

ネットワーク関連分野での案件の縮小を他の案件で補いきれず、売上高は大きく減少しました。

[エンベデッドソリューション]

モバイル機器関連の開発案件の縮小をきめ細かく案件を獲得することで補ったものの、ホームエレクトロニクス分野とカーエレクトロニクス分野の減少もありふるいませませんでした。

これらの結果、当事業の売上高は48億2千8百万円（前年同四半期比8.6%減）となり、営業利益は0百万円（前年同四半期比99.7%減）となりました。

② オリジナルパッケージ開発及び販売事業

[OCRソリューション]

活字文書OCRソリューションで上期に大型案件を売り上げたほか、コンシューマ向けパッケージは前期並みの売上高を維持しましたが、帳票OCRソリューションのカスタマイズ案件の減少などにより、OCRソリューション全体の売上高は減少しました。

[マンション管理ソリューション]

受注済みの大型案件の開発が順調に推移したほか、新規案件の納入も進みました。

[BIソリューション]

「DataNature」シリーズは、「DataNature Smart Basic」を中心に販売本数が増え、売上高が増加しました。

[モバイルソリューション等]

「MobileEntry」につきましては、ビル管理業務パッケージの販売に努めましたが、受注には至りませんでした。また、CTIアプリケーション「Cyzo」につきましては、新たにオンデマンドコールバックサービス等の提供を開始しました。

これらの結果、当事業の売上高は10億8千8百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業損失は3千5百万円（前年同四半期 営業損失7千4百万円）となりました。

③ ITソリューション・機器販売事業

業務用PCのOS移行案件や消費税増税を前にした駆け込み需要を獲得し、また文教向けの新規案件の受注も寄与して、売上高が増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は10億8百万円（前年同四半期比20.4%増）、営業利益は6百万円（前年同四半期 営業損失1千4百万円）となりました。

④ ハードウェア組立事業

主要顧客からの受注が低迷しており、売上高は2億3千6百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業損失は2千万円（前年同四半期 営業損失1千4百万円）となりました。

⑤ 不動産賃貸事業

当事業の売上高は6百万円（前年同四半期比56.8%減）、営業利益は2百万円（前年同四半期比71.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、受取手形及び売掛金が回収に伴い減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億8千1百万円減少し、97億1千4百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券を売却したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億8千1百万円減少し、26億9千7百万円となりました。

流動負債は、未払賞与や未払法人税等の減少などにより、前連結会計年度末に比べ4億4千2百万円減少し、11億1千9百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2千5百万円増加し、12億9千2百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4千5百万円減少し、100億円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、4億6千3百万円減少し、124億1千2百万円となりました。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.6ポイント上昇し、80.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

各セグメントの見通しは次のとおりです。

① ソフトウェア開発事業

[エンタープライズソリューション]

公共分野や企業情報系システムの大型案件の受注に取り組むとともに、継続案件の維持、拡大に注力してまいります。

[基盤環境構築ソリューション]

ネットワーク関連分野での顧客の投資抑制が継続する中で、きめ細かく案件の獲得を図ってまいります。

[エンベデッドソリューション]

ホームエレクトロニクス分野やカーエレクトロニクス分野の案件の獲得、拡大に注力してまいります。

② オリジナルパッケージ開発及び販売事業

[OCRソリューション]

帳票OCRソリューションや活字文書OCRソリューションでのカスタマイズ案件の獲得を図ってまいります。

[マンション管理ソリューション]

受注済み案件の検収に向けて作業を進めるとともに、来期に向けて受注の積み上げに努めてまいります。

[BIソリューション]

期末に向けて引き合い案件の受注により、さらなる売上高の増加を図ってまいります。

[モバイルソリューション等]

「MobileEntry」につきましては、ソリューション営業の推進とともに、ビル管理業務パッケージの案件獲得に注力してまいります。「Cyzo」につきましては、オンデマンドコールバックサービスのほか、顧客管理サービスなどにおける案件の獲得を目指してまいります。

③ ITソリューション・機器販売事業

引き続き業務用PCのOS移行案件や、消費税増税前の駆け込み需要の獲得に努めてまいります。また、音声応答システムや文教向けにつきましては、来期の案件獲得に向けた営業を推進してまいります。

④ ハードウェア組立事業

業務内容の見直しを行うなど経費削減を徹底し、既存案件の拡大や新規案件の獲得を目指してまいります。

⑤ 不動産賃貸事業

引き続き現有資産を活用して事業を進めてまいります。

なお、平成25年5月8日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,588,802	1,793,455
受取手形及び売掛金	2,309,886	1,474,631
商品及び製品	8,879	14,762
仕掛品	182,048	474,322
原材料及び貯蔵品	23,303	28,239
繰延税金資産	218,763	110,405
関係会社預け金	5,449,134	5,665,718
その他	115,789	153,461
貸倒引当金	△825	△523
流動資産合計	9,895,782	9,714,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,376,351	1,387,791
減価償却累計額	△1,045,802	△1,063,278
建物及び構築物(純額)	330,548	324,512
機械装置及び運搬具	14,272	14,272
減価償却累計額	△12,333	△12,906
機械装置及び運搬具(純額)	1,939	1,365
工具、器具及び備品	143,549	146,676
減価償却累計額	△128,165	△131,265
工具、器具及び備品(純額)	15,383	15,410
レンタル資産	53,731	53,731
減価償却累計額	△49,217	△51,953
レンタル資産(純額)	4,513	1,778
土地	567,481	567,481
リース資産	19,975	19,975
減価償却累計額	△13,982	△15,701
リース資産(純額)	5,992	4,273
有形固定資産合計	925,859	914,822
無形固定資産		
ソフトウェア	270,777	254,451
ソフトウェア仮勘定	42,238	18,522
その他	34,892	34,780
無形固定資産合計	347,909	307,754
投資その他の資産		
投資有価証券	1,073,844	828,555
敷金及び保証金	300,735	300,737
繰延税金資産	23,541	29,337
その他	319,547	328,224
貸倒引当金	△11,879	△11,600
投資その他の資産合計	1,705,790	1,475,254
固定資産合計	2,979,558	2,697,832
資産合計	12,875,340	12,412,307

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	447,992	385,297
リース債務	2,996	2,996
未払金	113,101	94,638
未払法人税等	112,767	11,237
未払賞与	358,432	193,690
賞与引当金	53,508	—
役員賞与引当金	7,500	5,625
返品引当金	8,701	4,031
受注損失引当金	19,124	1,074
その他	438,009	420,988
流動負債合計	1,562,134	1,119,579
固定負債		
リース債務	8,739	6,491
繰延税金負債	8,288	—
再評価に係る繰延税金負債	20,550	20,550
退職給付引当金	1,168,613	1,200,723
資産除去債務	951	967
その他	60,403	63,984
固定負債合計	1,267,545	1,292,717
負債合計	2,829,680	2,412,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,222,425	4,222,425
資本剰余金	3,505,591	3,505,591
利益剰余金	2,492,169	2,473,361
自己株式	△42,696	△42,720
株主資本合計	10,177,489	10,158,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,187	5,368
土地再評価差額金	△164,016	△164,016
その他の包括利益累計額合計	△131,829	△158,648
純資産合計	10,045,660	10,000,010
負債純資産合計	12,875,340	12,412,307

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,416,659	7,167,942
売上原価	5,630,121	5,512,684
売上総利益	1,786,537	1,655,257
販売費及び一般管理費	1,689,920	1,700,939
営業利益又は営業損失(△)	96,616	△45,682
営業外収益		
受取利息	22,381	28,204
受取配当金	6,157	8,858
投資有価証券売却益	—	2,305
投資有価証券評価益	47,311	111,125
助成金収入	6,319	7,896
雑収入	22,980	18,350
営業外収益合計	105,150	176,740
営業外費用		
投資有価証券売却損	1,158	—
遊休資産管理費用	2,521	3,317
雑損失	2,920	122
営業外費用合計	6,599	3,440
経常利益	195,167	127,618
特別利益		
投資有価証券売却益	—	99,963
特別利益合計	—	99,963
特別損失		
有形固定資産除却損	2,396	17
ソフトウェア除却損	1,610	—
投資有価証券評価損	19,228	—
特別損失合計	23,235	17
税金等調整前四半期純利益	171,932	227,564
法人税、住民税及び事業税	39,551	12,879
法人税等調整額	26,733	109,125
法人税等合計	66,285	122,005
少数株主損益調整前四半期純利益	105,646	105,559
四半期純利益	105,646	105,559
少数株主損益調整前四半期純利益	105,646	105,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,855	△26,818
土地再評価差額金	3,582	—
その他の包括利益合計	55,438	△26,818
四半期包括利益	161,084	78,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,084	78,740
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)
	ソフトウェア 開発事業	オリジナルパ ッケージ開発 及び販売事業	ITソリュー ション・機器 販売事業	ハードウェア 組立事業	不動産賃貸 事業			
売上高								
外部顧客への売上高	5,281,580	993,199	837,551	290,318	14,008	7,416,659	—	7,416,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,801	285	49	25,100	27,236	△27,236	—
計	5,281,580	995,001	837,837	290,368	39,108	7,443,895	△27,236	7,416,659
セグメント利益又は セグメント損失(△)	190,251	△74,927	△14,070	△14,854	10,217	96,616	—	96,616

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)
	ソフトウェア 開発事業	オリジナルパ ッケージ開発 及び販売事業	ITソリュー ション・機器 販売事業	ハードウェア 組立事業	不動産賃貸 事業			
売上高								
外部顧客への売上高	4,828,353	1,088,423	1,008,180	236,936	6,048	7,167,942	—	7,167,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,440	142	1,964	26,155	29,702	△29,702	—
計	4,828,353	1,089,864	1,008,323	238,901	32,203	7,197,644	△29,702	7,167,942
セグメント利益又は セグメント損失(△)	601	△35,604	6,790	△20,363	2,894	△45,682	—	△45,682

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(名称及び表示順序の変更)

第1四半期連結会計期間より、事業内容を明確に表示するために、従来の「ネットワーク機器・システム商品販売事業」のセグメント名称を「ITソリューション・機器販売事業」に変更するとともに表示順序を変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。